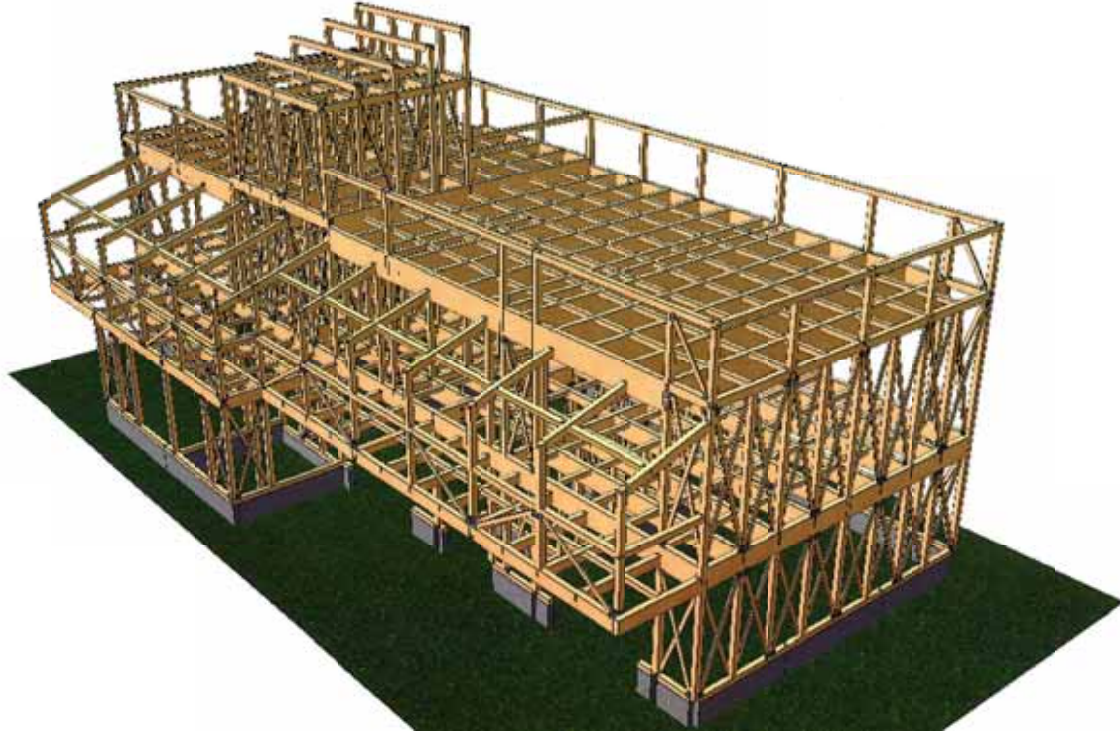


こぶし今里保育園 構造的特徴

延べ床面積	407.0 m ² (123.3 坪)
構造種別	木造準耐火建築物 (準耐火性能 45 分)



構造方針と特徴

1. 使用している木材について
 - ✓ 規模は小さいが二階に保育室があるため、準耐火建築物とする必要のある建物です。一般的に集成材を用いた準耐火建築物は非常にコスト高になりますが、この建物は低コストで耐火性能の高い 銘建工業(株) の既製品の集成材(TYPE-B と呼ばれる接着性能を有する集成材)を多く用いることで低コストを実現しています。
2. 接合金物について
 - ✓ 大きな荷重のかからない接合箇所には (株)タツミ の住宅用接合金物を採用し、プレカットにて構造材の加工を行うことで無駄なコストを省いています。8mスパンの2階床梁など荷重の大きい箇所は耐力の大きい特注品金物を使用することで安全性も確保しています。
3. 耐震要素について
 - ✓ 木造としては部屋割りが大きく耐震壁の数も少ない建物ですが、高倍率の耐力壁と剛性の高い床構面をうまく利用することで、コスト高の特注金物を用いることなく建物の安全性を確保しています。

集成材を上手に利用することによって、このような準耐火建築物でも現実的なコストで実現することが可能となります。